

3月「弥生(草木がいよいよ生い茂る月)」、別れと出会いの月となりました。 立つ鳥跡を濁さずといわれるように、有終の美で締め括りたいものです！



卒業式まで、残すところ10日となりました。3年生は6日・7日に公立高校入試があり、緊張感が漂うところです。高校入試は人生の中の第一関門のようなものです。様々な結果がでてきますが、そのことに安住したり、悲観したりすることに終始することなく、その先の未来に向け視線をあげてほしいものです。人生の約半分(約40年間)は、「社会人」として世の中で働くことになります。そこでどう有意義に生きるかが大事で、その後の人生にも大きく関わってきます。目先の楽しさや誘惑に惑わされることのないように、志を高く毎日を過ごしてもらいたいものです。

さて、新学習指導要領が、2021年から全面实施となります。2018～2020年の3年間は移行期間として、各教科において徐々に改訂されているところですが、「学習指導要領」という名称はよく聞くけど、中身は何なのという方々が多いのではないのでしょうか？今回は、この「学習指導要領」について、簡単にご説明したいと思います。

【学習指導要領とは何か？】(文部科学省のHPから)

「全国のどの地域で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるようにするため、～学校教育法等に基づき、各学校で教育課程(カリキュラム)を編成する際の基準」となるものです。つまり、私たちは、各教科で授業を行う際には、ここに示されている教育内容をもとに授業を展開しています。年間の標準授業時数等は、学校教育法施行規則で示されていますので、その時数を最低授業時数として年間35週の中で授業を組んでいるわけです。

今回の改訂では、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を柱として、特に「どのように学ぶか」では、知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」を推進していくことになります。

また、大学入試も2020年度から変わります。これまでなかった「記述式問題」が導入され、英語では4技能(読む・聞く・話す・書く)を評価することになります。「知識・技能」だけでなく、「思考力・判断力・表現力」が一層求められるようになります。

そこで、本校生徒の実態に照らし合わせると、「読解力」の低さが大きな課題として挙げられます。この力は全ての教科のもとになります。問題を読んで、そこに何が書いてあるのか、何を問うているのかを読み取る力が求められます。その力を養うためにも本を読み、その内容をしっかりと理解し、自分の言葉で書き記す訓練が必要です。読めるだけではだめなのです。そのためにもまずは日常的に読書を習慣化することが大事です。もちろん、漢字、英単語、計算等の教科の基盤となる学習は欠かせません。

本校では、新学習指導要領の改訂に向けて、校内研修を推進し授業改善に努めて参りますので、ご家庭でも家庭学習や家庭での10分間読書などを推進していただければと思います。よろしくお願いします。

【スポーツ表彰がありました。】

2月21日(木)、親和銀行本店9階ホールにて、公益財団法人 佐世保市体育協会スポーツ表彰が開催されました。本校からは3年生の 小森 慧君が男子バレーボール競技で「スポーツ優秀賞(個人)」を受賞しました。また、以前本校に勤めていらした横尾 勉 元校長もバレーボール競技で「体育功労賞」を受賞されました。



3月2日(土)、体育文化館コミュニティセンターにて、「平成30年度佐世保市教育員会文化及びスポーツ表彰」が開催されました。本校からは2年生の 戸上 倫太郎君が水泳競技で「スポーツ優秀奨励賞(個人)」を受賞しました。

二人ともおめでとうございました。今後さらに活躍することを期待しています。